

胃形質細胞腫に関する多施設共同後方視的調査研究

2007年1月1日から2016年12月31日までに上部消化管内視鏡検査によって胃形質細胞腫（多発性骨髄腫の胃病変も含む）と診断された患者さん

研究協力をお願い

当科では「胃形質細胞腫の臨床的特徴の検討」という研究を行います。この研究は、2007年1月1日から2016年12月31日までに日本医科大学付属病院血液内科を含む日本骨髄腫学会の本研究参加施設において、上部消化管内視鏡検査によって診断された胃形質細胞腫（多発性骨髄腫の経過中に合併した症例も含める）の患者さんの臨床的特徴について、倫理委員会承認日より2017年12月31日の期間で調査する研究であり、研究目的や方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：胃形質細胞腫の臨床的特徴の検討
研究期間：2017年2月3日（倫理委員会承認日）～2017年12月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 血液内科 田村秀人

（2）研究の意義、目的について

上部消化管内視鏡検査によって胃形質細胞腫（多発性骨髄腫に合併した症例を含む）と診断された患者さんの臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。

（3）研究の方法について

2007年1月1日から2016年31日までに日本医科大学付属病院、日本骨髄腫学会の本研究参加施設において、上部消化管内視鏡検査によって胃形質細胞腫（多発性骨髄腫の経過中に合併した症例も含める）と診断された患者さんの匿名化された臨床的データ（診断時病期、腫瘍の染色体異常、採血結果など）を集積・解析し、胃形質細胞腫の臨床的特徴、経過、治療法（治療効果）、予後などについて後方視的に検討することが目的です。

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 血液内科 准教授 田村秀人
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6724/4596
メールアドレス：tam@nms.ac.jp